

日大土木会会報

【通常総会の開催報告】

平成23年7月1日（金）17：30より、日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階121会議室において、日大土木会平成23年度通常総会が開催されました。

冒頭の松田慎一郎会長の挨拶では、東日本大震災の復興を本学土木卒業生が数多く担っていることが紹介され、国土交通省、各地方自治体、ゼネコン、コンサルタント等での尽力されている本学卒業生を讃えられました。

総会の議事進行にあたり、議長に工学部・昭和41年卒業の盛武建二氏が指名され、議案書（別紙資料参照）に基づき、第1号議案から第3号議案まで審議を行い、提案の通り承認されました。

第1号議案 平成22年度収支決算・事業報告

第2号議案 平成23年度事業計画

第3号議案 平成23年度予算案

総会および特別講演会の終了後、会場を移して懇親会が開催されました。



通常総会の様子



懇親会の様子

【特別講演会の開催報告】

通常総会に引き続き、本学理工学部土木工学科教授で、日本都市計画学会会長の岸井隆幸先生の特別講演会（写真参照）が実施されました。

「東日本大震災 ～被災状況と復興の課題～」と題してスライドを用いて、約30分にわたり講演が実施されました。講演の内容は、東北地方各地の津波被災の状況を詳しく説明されるとともに、日本都市計画学会会長の立場として、津波被災市街地の復興に向けた課題や行政と学会の動向などについて紹介していただきました。



講演される岸井隆幸先生



特別講演会の様子

【「第13回 地盤の会 講演会」の開催報告】

通常総会に先立ち、理工学部駿河台校舎1号館122会議室において、「第13回地盤の会講演会」が開催されました。

東日本大震災後の講演会であるため、電通大名誉教授の早川正士先生をお招きし、地震予知の講演をしていただきました。また、震災直後から精力的に地盤の被害調査を実施された鎌尾彰司先生の調査報告、大学からの派遣で東南アジア諸国の地すべり調査に行かれた重村智先生の出張報告が行われました。

なお、本講演会には30名を超える参加者があり、質疑応答等も活発にあり、とても盛況でありました。

今回のプログラムは以下の通りです。

司会：新井 新一・昭和54年卒

委員長挨拶

佐々木 勉・昭和49年卒

「電磁気現象を用いた地震予知」

早川 正士（電気通信大学名誉教授）

「東日本大震災での関東地区の地盤被害調査報告」

鎌尾 彰司（理工学部土木工学科准教授）

深澤 榮造（環境管理センター）

「海外出張報告（東南アジアで発生する地すべりの特徴）」

重村 智（理工学部土木工学科専任講師）



挨拶される佐々木勉委員長



司会：新井新一氏



講演される早川正士先生



講演される鎌尾彰司先生



講演される重村智先生



地盤の会 会場の様子